

計議第350号及び第351号議案 説明資料 資料5－4

計議第350号議案

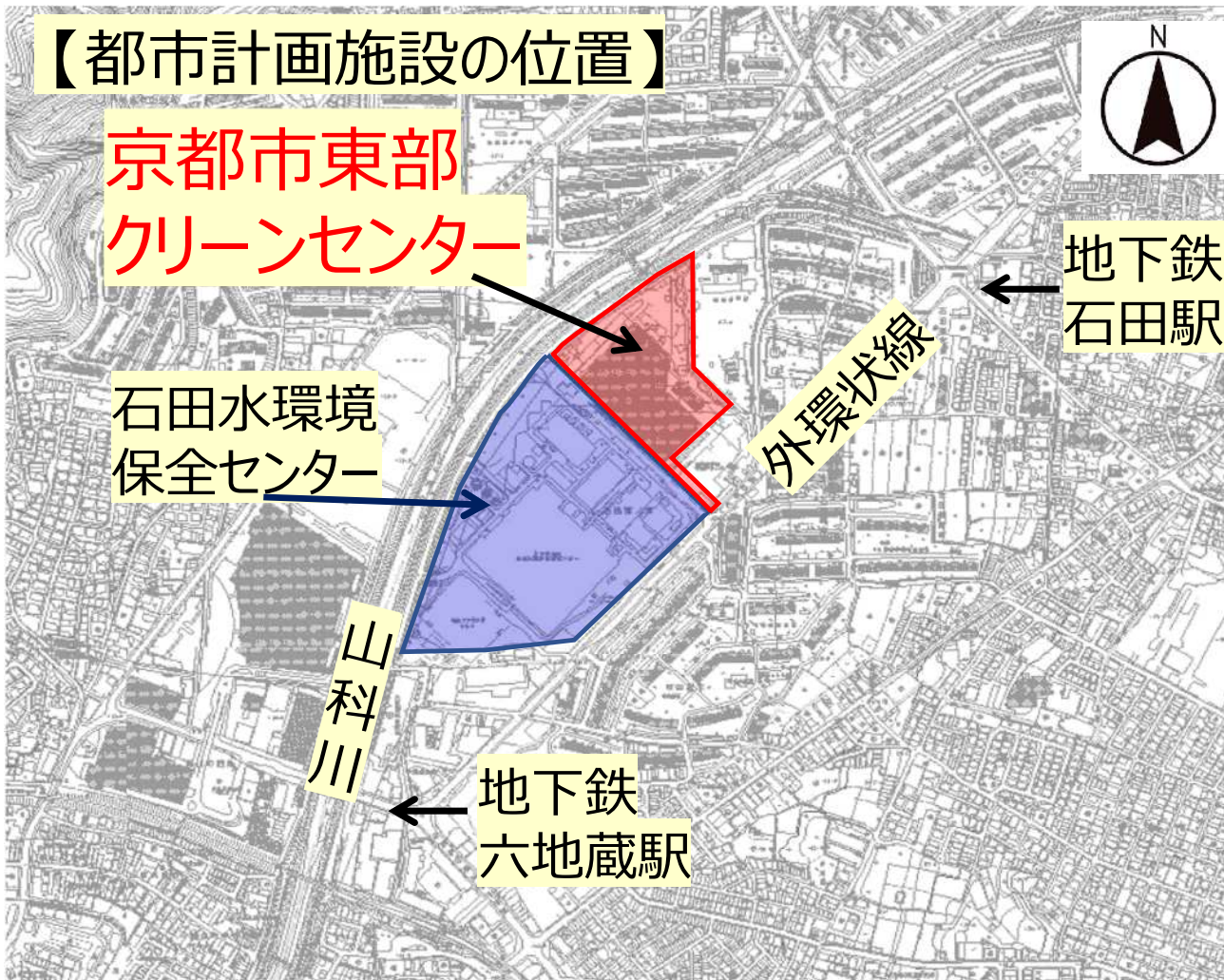
京都都市計画（京都国際文化観光都市建設計画）
ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）の変更（京都市決定）
（2号 京都市東部クリーンセンター）

計議第351号議案

京都都市計画（京都国際文化観光都市建設計画）
下水道の変更（京都市決定）
（石田水環境保全センター及び鳥羽水環境保全センター）

令和5年11月
京都市

1 京都市東部クリーンセンターの概要



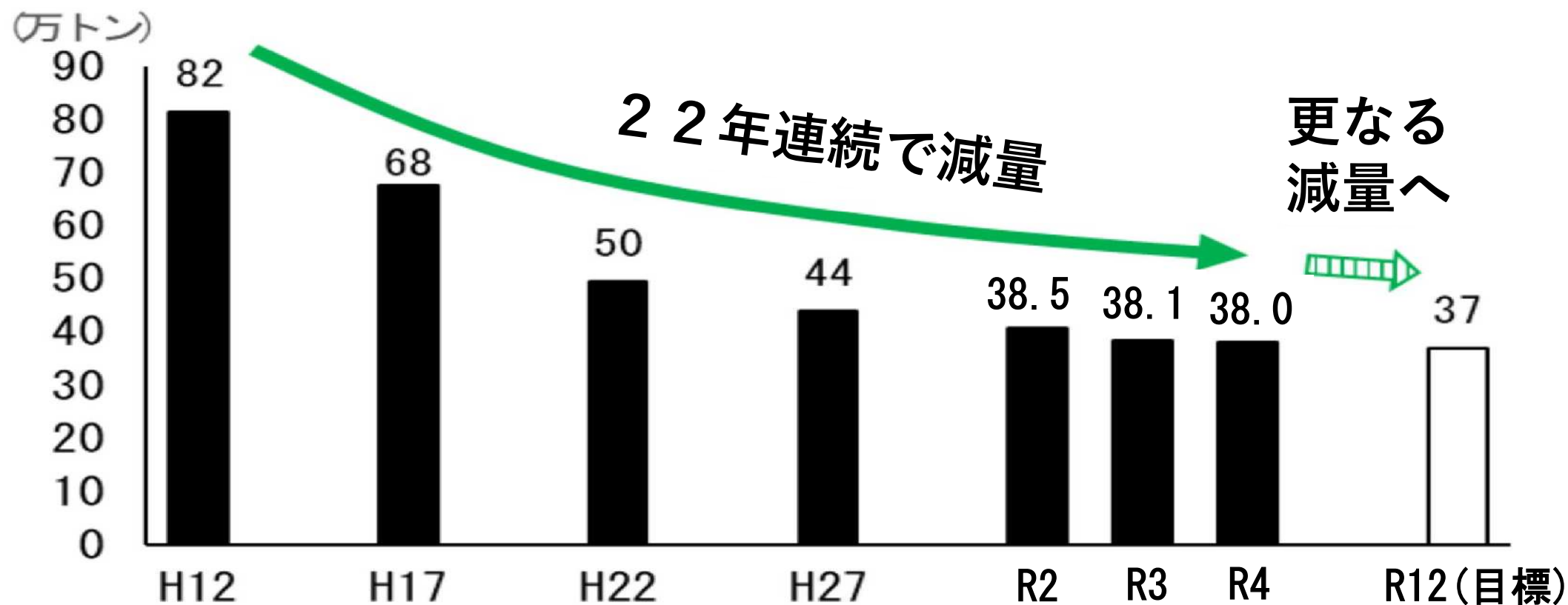
名称	京都市東部 クリーンセンター
位置	伏見区石田西ノ坪、 石田森西
面積	約 3. 4 ヘクタール

昭和51年11月に
都市計画決定し、
昭和55年9月から
稼働開始。

2 本市のごみ量の推移

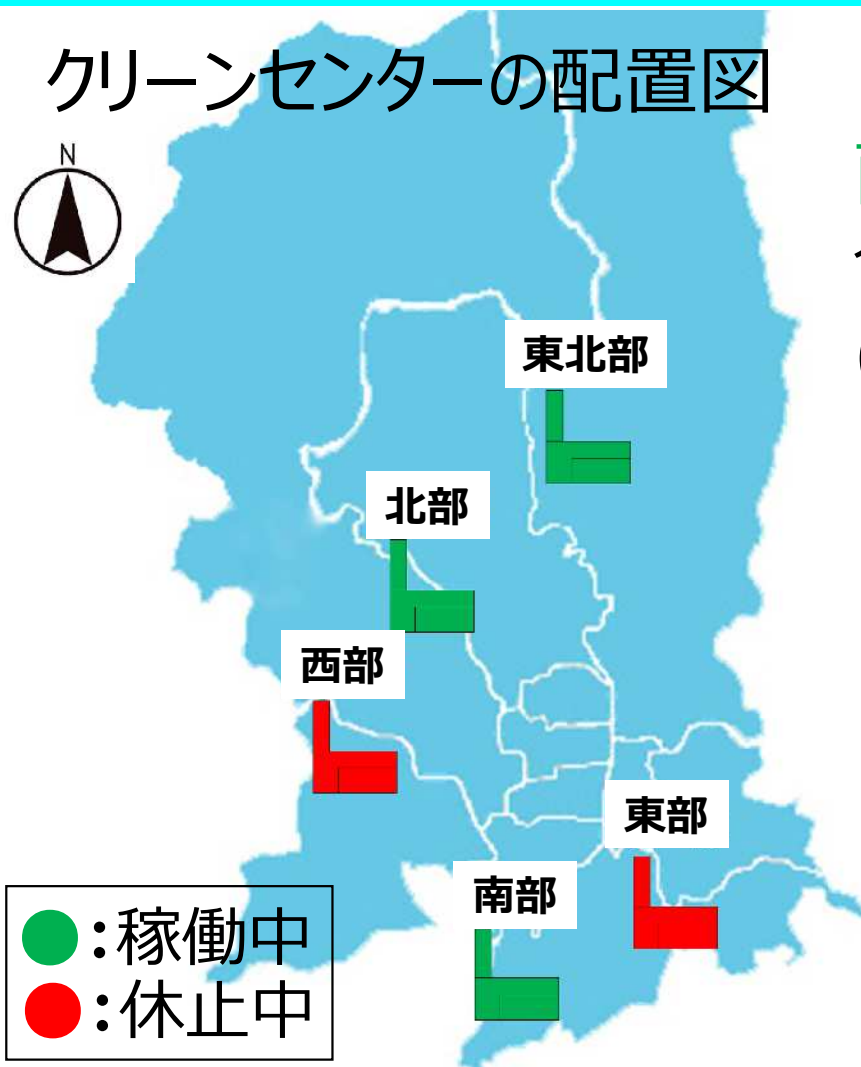
近年のごみ量は、ピーク時の半分以下で推移しており、

大幅な減量を達成



3 本市のグリーンセンターの配置と稼働状況

グリーンセンターの配置図



＜稼働中のグリーンセンター＞

南部、北部、東北部

合計ごみ処理能力 年間 46.7 万トン
(ごみ処理能力) (R4のごみ処理量)

46.7 万トン > 38.0 万トン

⇒ 余裕をもって処理を実施

＜休止中のグリーンセンター＞

西部、東部

(西部はごみ焼却は休止中ですが、焼却以外のごみ処理用途で活用中)

4 都市計画の変更理由（京都市東部クリーンセンター）

<現 状>

- ・ ごみ量は「ごみの減量・再資源化」の成果により、大幅な減量を達成
- ・ 今後も更なる減量を推進していく方針



<施設の廃止>

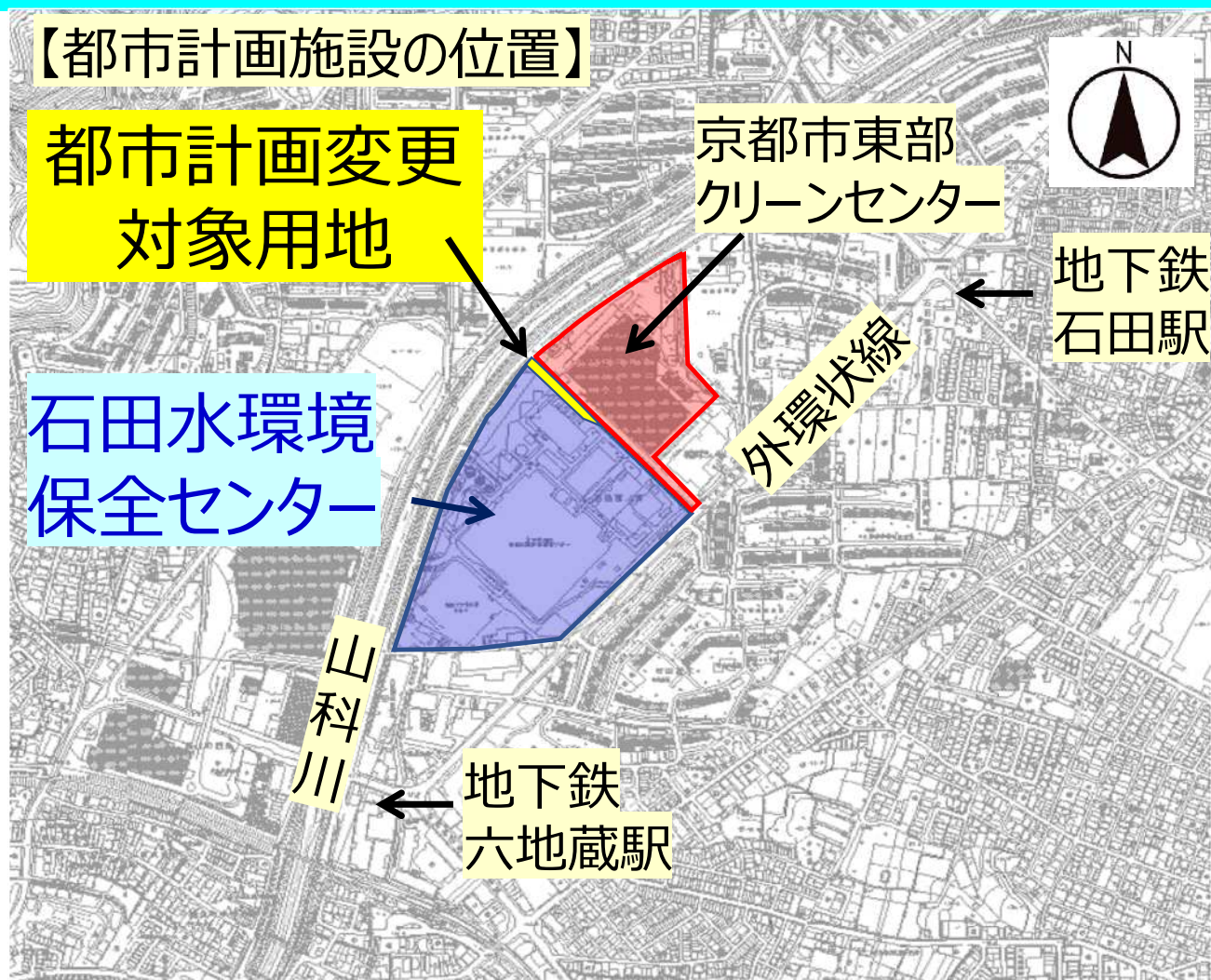
- ・ 稼働中のクリーンセンターにおいて、将来にわたり適正処理が可能
- ・ 休止中の京都市東部クリーンセンターを廃止



<都市計画の廃止>

- ・ 今後、当該区域に「ごみ処理場」を整備することはないため、京都市東部クリーンセンターの都市計画を廃止

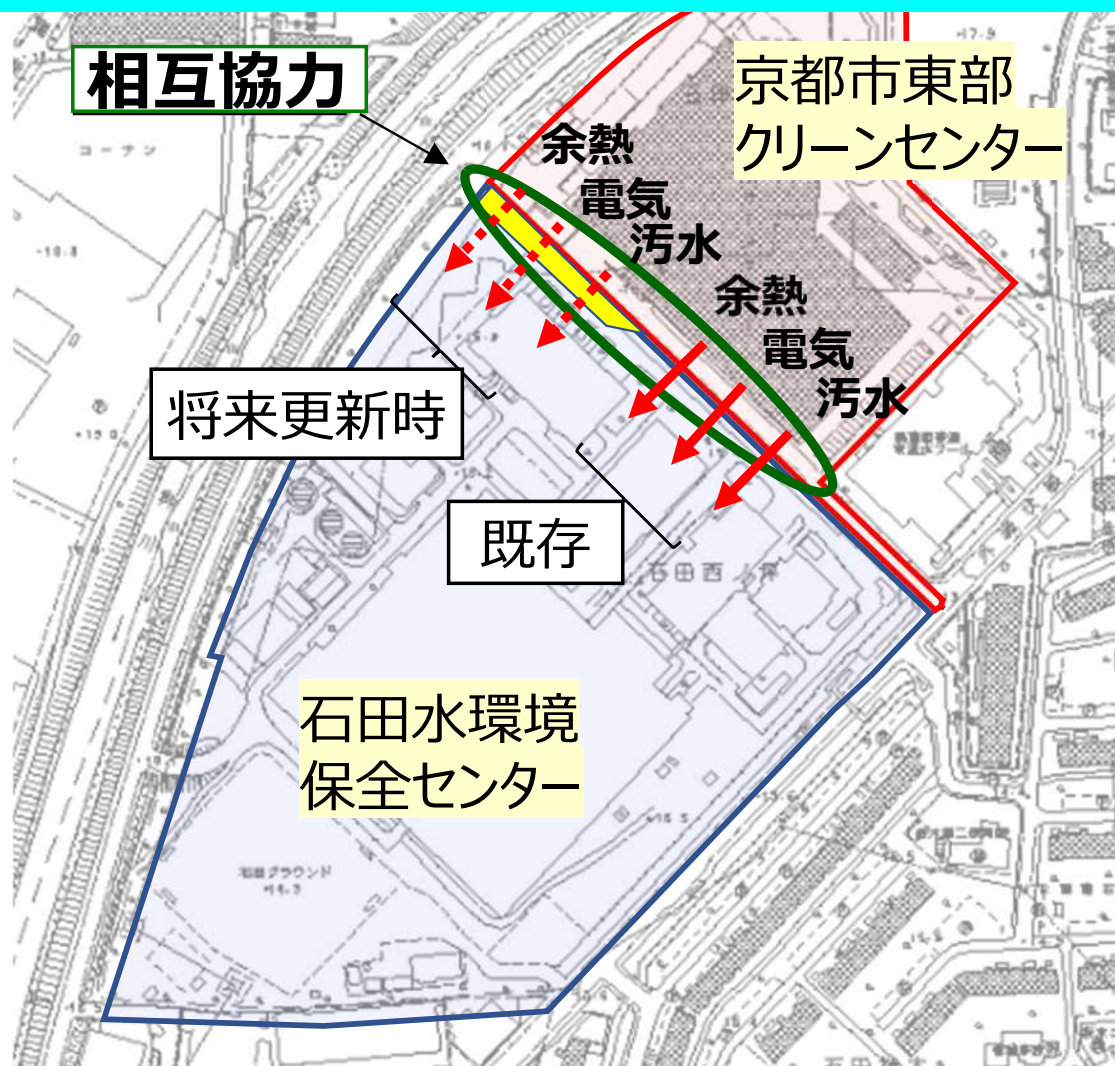
5 石田水環境保全センターの概要



名称	石田水環境 保全センター
位置	伏見区石田西ノ坪、 石田森西
面積	約 87,590 平方メートル

昭和51年11月に
都市計画決定し、
昭和56年1月から
稼働開始。

6 相互協力及び変更の対象となる用地



<相互協力とは>

- グリーンセンターでゴミ焼却により発生する熱や、熱により発電された電気を、石田水環境保全センターで利用
- グリーンセンターで発生した汚水を、石田水環境保全センターで処理

<都市計画変更の対象用地>

- ： 将来、相互協力施設の更新が必要になった際に、活用予定の用地（約920m²）

7 都市計画の変更理由（公共下水道 石田水環境保全センター）

石田水環境保全センターと東部クリーンセンターは、これまで両センターの特徴を活かして、余熱・電気利用及び汚水処理の相互協力を行ってきた。



今回、東部クリーンセンターの廃止に伴い、相互協力のための施設に更新が必要となった際に活用予定であった用地（約 9 2 0 m²）が不要となる。



石田水環境保全センターの都市計画を変更
（敷地面積の縮小）

8 都市計画の変更内容 (公共下水道 石田水環境保全センター)

【新旧対照表】

	内 訳	位 置	備 考
【新】	石田水環境 保全センター	伏見区石田西ノ坪、 伏見区石田森西	敷地面積 約 8 6 , 6 7 0 m ²
【旧】	石田水環境 保全センター	伏見区石田西ノ坪、 伏見区石田森西	敷地面積 約 8 7 , 5 9 0 m ²

9 都市計画の変更内容 (公共下水道 鳥羽水環境保全センター)

【変更理由】

土地区画整理事業の換地処分に伴い、施行地区内の「町名・町界・地番」の変更が行われたため、施設の「位置」の表記を変更するもの

【新旧対照表】

	内 訳	位 置	備 考
【新】	鳥羽水環境 保全センター	南区上鳥羽塔ノ森 梅ノ木外 9ヶ町	敷地面積 約 4 6 0 , 4 6 0 m ²
【旧】	鳥羽水環境 保全センター	南区上鳥羽塔ノ森 梅ノ木外 1 0ヶ町	敷地面積 約 4 6 0 , 4 6 0 m ²

10 意見書の要旨（京都市東部グリーンセンター）

都市計画の案に対する意見種別の集計表

○ 提出された意見書数：3通

関連議案	意見の種別	意見の内容と件数	
計議第 3 5 0 号 議案	都市計画 廃止後の 跡地活用 について	地域住民の意見や要望を取り入れた跡地利用計画にすること。	2
		東部グリーンセンターと石田小学校の間にある通路は、通学路や生活道路として存続させて欲しい。	3
		東部グリーンセンターの管理棟を残して、自治会館のような住民が集まれる会議室や災害時の避難所等として整備してほしい。	2
		老人保養センターや醍醐図書館のような「健康増進」施設や「教育」施設を残すこと。	2
合 計			9